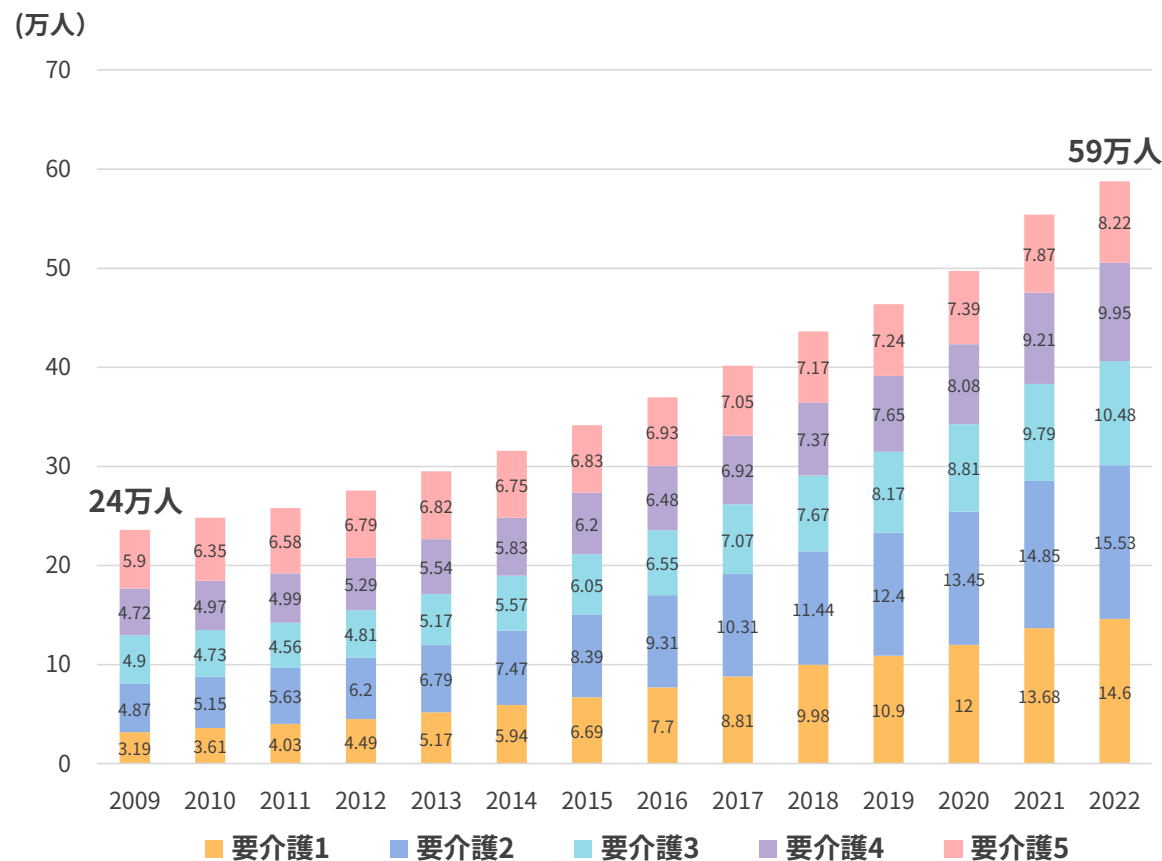


訪問看護業界

# 転職まるわかりBOOK



## 要介護度別の訪問看護利用者数



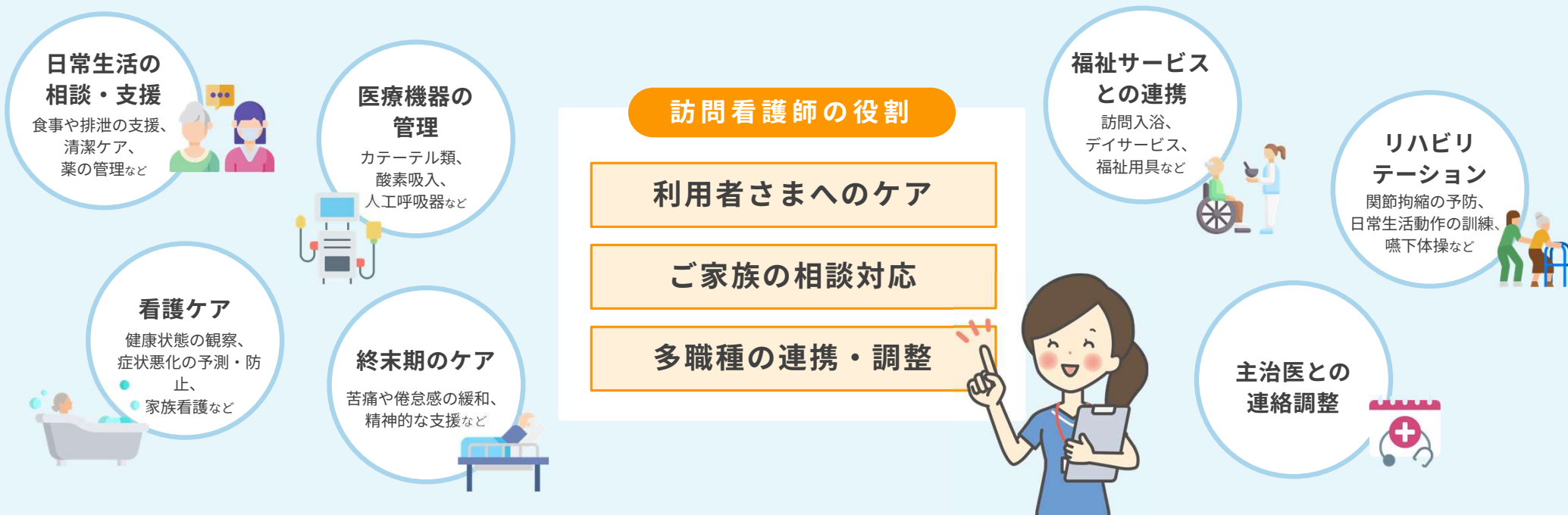
## 訪問看護を必要とする人は 増え続ける

超高齢化社会の日本において、訪問看護を利用する方は年々増加しています。2022年の訪問看護利用者数は、要支援者・要介護者合わせて約69万人でした。今後も利用者は増え続けると考えられています。

左のグラフは、厚生労働省「介護給付費等実態統計」に基づく「要介護者における訪問看護利用者数の推移」です。要介護1～5の合計の利用者数が2009年は約24万人だったのに対して、2022年には約59万人と2.5倍も増えているのがわかります。

日本では2040年に向けて、65歳以上の高齢者の人口が増加する見込みです。75歳以上の後期高齢者だけでなく、要介護認定率が高くなる85歳以上の人口も増加すると試算されています。介護を必要としながらも住み慣れた住まいで暮らしたいと望む人は今後も増加するとみられるため、訪問看護をはじめ地域医療に関わる看護師の存在がさらに求められるでしょう。

出典：介護給付費等実態統計（各年4月審査分）



## ”その人らしさ”を大切にした暮らしをサポート

訪問看護とは、看護師が利用者さまのご自宅などに出向き、必要な医療処置やリハビリテーション、日常生活の支援などを行うことです。訪問看護に携わる看護師は、医師の指示のもと病状や健康状態のチェック、点滴や吸引、服薬管理などを実施します。また食事や排泄、入浴といった日常生活のサポートや認知症を持つ人への相談やアドバイス、寝たきり防止のためのリハビリテーション、終末期のケアなどの業務もあり、利用者さまの病状や希望に沿った多様なサポートを提供します。

訪問看護は、乳幼児から高齢者まで幅広い年齢の方が利用しており、さまざまな年代の方と関わり合う仕事です。さらに、訪問看護師は利用者さまやご家族と、医師やケアマネージャーなどの地域の多職種をつなぐ「橋渡し役」としても重要な存在です。看護師として培った知識や経験を活かしながら、健康上の問題を抱えながらもその人らしく快適に過ごせるために必要なケアを考え、地域ぐるみで包括的なサポートができるように調整していきます。

### 病棟と訪問看護を経験した看護師の声



#### 病棟歴4年、訪問看護歴4年 Aさん

入院時は24時間を病棟で過ごすため、患者さま一人で行うことが難しい排泄時や体位変換など、看護師の援助が必要なタイミングで呼んでくださいます。

帝詞3

しかし、訪問看護においては、週に1回、1時間など限られた時間の中で医療処置や看護を行う必要があります。そのため、訪問看護の時間以外も利用者さまの望む暮らしができることを念頭に置いて、サポート方法について多職種で考えながら、一人ひとりと向き合っています。

#### 病棟歴7年、訪問看護歴9年 Bさん

急性期病院では、私たち看護師に「痛みを和らげてほしい」「吐き気がするのするのを何とかしてほしい」など即時の対応が求められることが多かったです。

帝人1

一方、訪問看護では利用者さまの生活がベースにあり、その中で大きなトラブルが起きないようにサポートすることを希望される方もいらっしゃいます。体調に変化があった際などに、看護師にすぐに相談できる関係であることも大切です。利用者さまのプライベートな環境であるご自宅に伺い、暮らしの中のヒントを得ながら「その人らしい生活」を理解し丁寧に信頼関係を構築していくのは、訪問看護ならではの魅力かもしれません。

帝人2



## スライド 4

---

- 帝人1** 例が適切か確認してほしい  
帝人 HCP 山田 安乙奈, 2024-06-13T01:09:53.085
- 帝人2** 適切な表現に変えて欲しい  
帝人 HCP 山田 安乙奈, 2024-06-13T01:10:19.082
- 帝詞3** こと  
帝人 HCP 茂木 詞織, 2024-06-21T01:27:25.156

## 訪問看護師の1日のスケジュール例

- 8:30 ● **ステーションに出勤・朝礼**  
情報収集・申し送り
- 8:45 ● **準備・出発**  
持ち物の準備
- 9:00～12:00 ● **午前中の訪問**  
訪問2～3件
- 12:00～13:00 ● **昼休憩**
- 13:00～17:00 ● **午後の訪問**  
訪問2～3件
- 17:00～17:30 ● **帰社**  
訪問記録などの書類作成  
スタッフ間での情報共有
- 17:30 ● **勤務終了**  
勤務終了



## 1日あたり約4～6件の利用者さまを訪問

訪問看護ステーションによって、ミーティングやカンファレンスの頻度、直行直帰の有無などは異なります。ここでは訪問看護師の1日のスケジュール例を紹介します。

朝は、訪問看護ステーションに出勤してメールなどのチェック、申し送りやスケジュールの確認などを行います。その後持ち物の準備を行い午前中の訪問がスタートします。午前の訪問はおおよそ2～3件で、1件あたり30～90分程度かかります。医師の指示書に従い利用者さまへのケアを行います。昼は、訪問看護ステーションに一旦戻って昼食を食べながら情報共有したり、外で食事を済ませたりします。

そして、午後の訪問に出発し、午前と同様2～3件の訪問をします。全てのスケジュールを終えると、訪問看護ステーションに戻って記録・報告や多職種への連絡などを行います。基本的に夜勤はないため、事務作業を終えると退勤です。オンコ-**帝人1**日当日は退勤後の自宅待機が必要になります。月末月初は月次の書類作業があるため、残業をすることもあります。

## スライド 5

---

帝人1 合ってる？

帝人 HCP 山田 安乙奈, 2024-06-20T04:24:45.564

帝詞1 0 医療機関に限らないので、「多職種」としますか？

帝人 HCP 茂木 詞織, 2024-06-21T01:29:49.456



一人ひとりと向き合える



仕事とプライベートを  
両立しやすい



外に出ることで  
リフレッシュできる

訪問看護と病棟での勤務の主な違いを3点ご紹介します。

病棟では、複数の患者さまに対して優先順位をつけながら診療の補助や療養上の世話をするため、コミュニケーションをとる時間も非常に限られています。一方で訪問看護では、一人の利用者さまに対して30～90分と決められた時間向き合えるので、落ち着いてケアをすることができます。

夜勤や緊急入院などのイレギュラーな対応が少ないことで、落ち着いて働きやすく、仕事とプライベートを両立しやすいというポジティブな面もあります。曜日固定の休みが取れるケースもあり、プライベートの予定を立てやすくなったという方もいます。

また、病棟と訪問看護のどちらも経験している看護師からは「病棟ではいつも変わらない景色の中で仕事をしていました。しかし、訪問看護では外に出かけるので移動中に風景が見られ、季節の移ろいを感じることができてリフレッシュできます。」という声も聞かれました。病棟の中ではなかなか味わえなかった刺激を受けることができるのも訪問看護の特徴です。



病棟と大きく違うのは、  
利用者さまのもとに  
**1人で訪問**すること



## 困りごとも相談できる環境があるので安心して働ける

病棟と大きく異なり、訪問看護では基本的に一人で利用者さまを訪問します。さまざまな疾患の利用者さまにケアを提供するため、一人だけでは対応に困るケースもあるかもしれません。しかし、実際は一人ではなくチームで利用者さまを支えます。何かあればすぐに訪問看護ステーションのメンバーやケアマネージャーなどの多職種に相談でき、場合によっては一緒に同行訪問してもらうこともあります。そのため、「利用者さまを自分ひとりだけで看ないと」と悩みを抱え込む必要はありません。

帝人1

その他にも、オンコール当番があることもギャップのひとつです。オンコールとは当番制で緊急用の携帯電話を持ち歩き、利用者さまからの連絡に備えるために自宅待機することです。回数を重ねてオンコールに慣れることで緊張が和らいだという意見も聞かれました。

さらに、自動車や自転車での移動に体力的な心配がある方もいらっしゃるでしょう。しかし、1~2カ月間の勤務を重ねることで慣れたり、移動が最小限になるように訪問の導線を工夫する訪問看護ステーションも多くあるので、安心して働くことができます。

## スライド 7

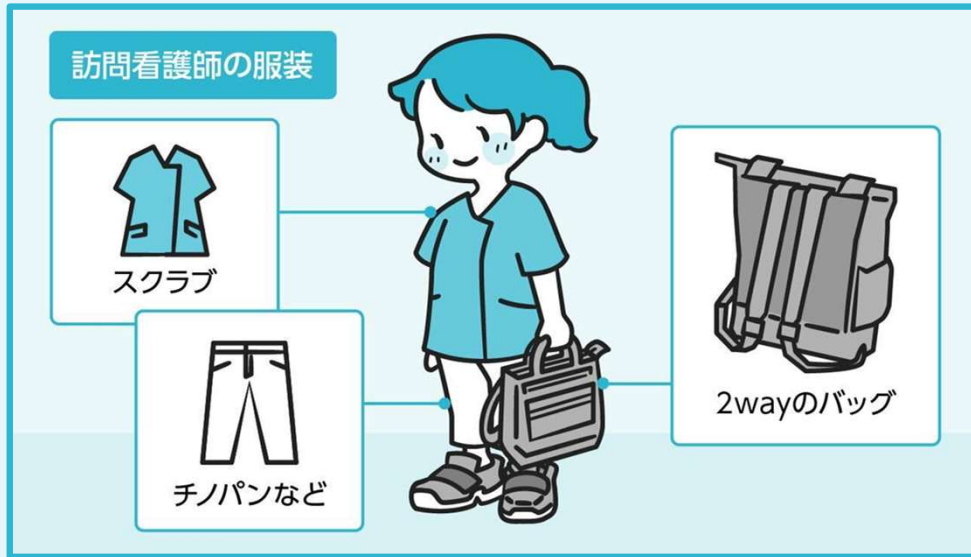
---

帝人1

できる？

帝人 HCP 山田 安乙奈, 2024-06-13T01:38:28.186

## 訪問看護師の持ち物・服装のポイント



### 動きやすく、見た目にも清潔感のある装いが必須

訪問看護ステーションごとに、服装に関する規則は異なりますが、多くの事業所ではトップスにスクラブやポロシャツを、ボトムスにはチノパンやスラックスを採用しています。看護やリハビリテーションを行う際に動きやすいこと、そして利用者さまやご家族などに清潔感や親しみやすさを感じてもらえる服装が大切です。移動時の靴は、着脱がしやすいスニーカーがおすすめです。バッグをご自身で準備する際には、手持ちでもリュックとしても使える2wayタイプを選ぶと便利です。

もし自転車で移動する場合は、季節や天候に応じた対策も必要です。例えば雨の日は、雨で濡れたまま利用者さまのご自宅にあがらないように、レインウェアやレインブーツを着用します。濡れてしまった場合に備えて、タオルや替えの靴下を持参します。そしてバッグなどの持ち物が濡れないように、自転車のかごカバーやリュックカバーで持ち物を覆うようにしましょう。





## あると便利！ おすすめの便利アイテム

### 1. 大きめのゴミ袋

ゴミを集めて捨てる役割だけではなく、雨天時はバッグが濡れないように包めるほか、ベッド上での清潔ケアの際には寝具を汚さないように袋を敷くこともできます。多様なシーンで大活躍します。

### 2. ジッパー付きポリ袋

利用者さまの内服薬をジッパー付きポリ袋に1回分ずつまとめて、薬カレンダーや箱に入れることで、飲み忘れや飲み間違いを防ぐことができます。薬の管理に便利なアイテムです。

### 3. モバイルバッテリー

訪問看護ではスマートフォンやタブレットを携帯して利用者さまのご自宅に伺います。1日の終わりまで充電が切れないように、モバイルバッテリーを持参するとよいでしょう。

1

利用者さまの要望をふまえた  
ケアをしやすい



2

利用者さまやそのご家族と  
深く関わり合える



3

比較的長い期間  
サポートできる



訪問看護では医師の指示書をもとにケアを行っていきませんが、利用者さまの要望を踏まえてケアを行うことも可能です。例えば、ケアだけでなく生活相談に乗ってほしいという要望があれば訪問の時間内でアドバイスをしたり、嚥下機能に問題のある利用者さまへ嚥下体操を行うこともできるでしょう。ただし医療的ケアへの要望は、医師による訪問看護指示書の書き直しが必要なケースもあるため、注意しましょう。

訪問看護では利用者さまの暮らしの中で看護を提供するため、利用者さまやご家族に関して深く知ることができます。関係を築く中で、利用者さまの小さな変化に気づくことや、ご家族とコミュニケーションから重要な情報を得られることもあります。そこで看護の視点を発揮することで利用者さまの希望する療養生活が実現し、看護師としてやりがいを感じられるでしょう。

訪問看護では、利用者さまが入退院を繰り返す場合はあるものの、基本的には退院以降も訪問看護を再開していくため、継続的に利用者さまをサポートできます。病院では入院時にしか看護の提供はできませんが、訪問看護は比較的長期にわたりに実践できるのもやりがいです。



### 訪問看護師のメリット

- 利用者さま一人ひとりに向き合える
- 土日休みの職場が多い
- 基本的に夜勤がない
- 日勤のみでも給与水準が比較的高い



### 訪問看護師のデメリット

- 利用者さまのもとに1人で訪問する
- 幅広い観察力とアセスメント能力が必要
- オンコール対応がある
- 移動が多い

## 無理なく働きやすく、やりがいのある仕事

訪問看護には様々なメリットがあります。まず、働き方のメリットとして、土日休みの職場が多いことや基本的に夜勤がないことが挙げられます。休日が固定されることでプライベートの予定が組みやすくなります。また生活リズムが崩れにくいいため、夜勤が辛いと感じている場合におすすめです。また、給与面の魅力もあります。日本看護協会の「2021年看護職員実態調査」によると、日勤がメインである診療所や介護施設で働くよりも訪問看護のほうが平均月給が高いという結果が出ています。夜勤がない分病棟で働くよりも手当が減りますが、オンコール手当がある分日勤を中心に高給与を叶えるには訪問看護も選択肢の一つになるでしょう。

一方、デメリットと捉えられやすい特徴もあります。訪問看護では現場に一人で訪問し、様々な疾患領域の利用者さまに対応することにプレッシャーを感じるかもしれません。しかし実際は管理者や他の看護師に電話で相談できるフォロー体制が整っている場合がほとんどで、安心して働くことができます。また、オンコールの対応は緊張するかもしれませんが、ステーションによっては2人目の担当を置くこともあります。移動の多さも訪問看護の特徴ですが、リフレッシュの時間と考えることもできます。オンコールや移動には数カ月で慣れるという声が多く聞かれるので、あまり心配し過ぎないようにしましょう。

## 柔軟性

利用者さまの価値観や行動などを理解して受け入れる柔軟性はもちろんのこと、急な予定変更に対応できる人は訪問看護師に向いています。

さらに、医師やケアマネージャーなど多職種と関わる機会が多いため、自分と異なる考え方が出てきても、自分の意見に固執しすぎず柔軟に受け入れ、協働することも重要です。

## マナーを守る

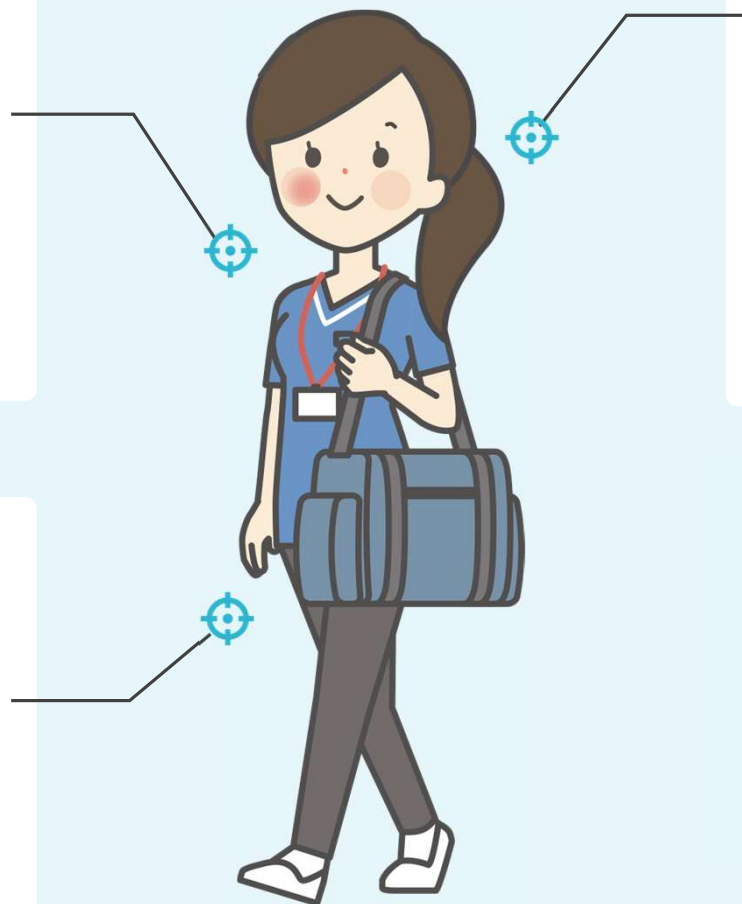
訪問看護では、利用者さまのプライベートな空間でケアを提供します。そのため、マナーを守り、丁寧な言葉遣いや気を配った態度、プライバシーへの配慮をして利用者さまやご家族に接することが大切です。

マナーを遵守できると、利用者さまやご家族は訪問看護師に安心感を持てるため、信頼関係が築きやすくなり、より良いケアの提供にもつながるでしょう。

## 吸収力

訪問看護では様々な領域の疾患に対応するため、幅広い知識や技術を前向きに取り入れられる人は訪問看護師に向いています。例えば、先輩のケアを見学してよい部分を真似て実践することや、研修に参加することなどが有効です。

年齢や経験に関係なく学び続けることは、個人のスキル向上だけでなく、訪問看護ステーション全体により影響を及ぼします。





## 訪問看護師に 向いていない人の特徴

- 自分の看護への**こだわりが強い**
- 生活より**高度医療**に強い関心がある
- 人の家に入ることに抵抗**がある



## 利用者さまの思いを尊重し、 「生活を看る」ことを大切に

訪問看護では多様な考え方の利用者さまを尊重し、その人らしい生活を支えることに焦点を置きます。看護師としては最善の提案だと思っても、利用者さまがそれを望まないケースが発生するかもしれません。その際に自分の理想とする看護へ固執しすぎると、訪問看護をしていく中で行き詰まってしまう可能性があります。

また、訪問看護の利用者さまは、比較的状态が落ち着いている方が多く、高度な医療処置を実施する機会は少なめです。高度医療への関心が高く、利用者さまの生活への関心が薄いと、訪問看護の特徴である「生活を看る」ことに価値を見出しにくいかもしれません。

利用者さまのご自宅を訪問するので、他人のプライベートな生活の場に入ることに強い抵抗感がある人は向いていないかもしれません。

一方で、経験の有無は訪問看護の向き不向きに関係ありません。ほとんどの看護師が未経験から訪問看護の世界に飛び込んで活躍しています。もちろんこれまでの経験はアドバンテージになりますが、未経験の場面に会った際に素直に学ぶ姿勢があれば、十分向いていると言えます。

## 重視するポイントを整理してみよう

✓ 給与や待遇が希望とマッチしているか



✓ 希望する働き方ができるか



✓ 具体的な業務内容をイメージできるか



転職を成功させるには、「給与」「働き方」「業務内容」が自身の希望とマッチするかをしっかりと確認する必要があります。これらはいずれも重要な項目であり、転職後にギャップに気づいた場合、離職に繋がる可能性が高まります。

「訪問看護」と一言でいっても、利用者さまの傾向や訪問看護ステーションの理念などによって、仕事内容や職場の雰囲気は大きく異なります。その中で希望に合う求人を見つけるには、まずは自身が訪問看護ステーションで働くうえで重視するポイントをよく整理しておくことが大切です。

例えば、給与を重視したいのであれば、訪問件数によるインセンティブ手当やオンコール手当などの手当が充実したステーションを探してみるといいでしょう。

もし看護経験の浅くじっくり成長していきたいのであれば、教育体制や研修が充実しているステーションが合うかもしれません。

訪問看護への転職を考えている方は、自分の大切にしているポイントを見直して、転職の方向性や転職で実現したいことを明らかにしておきましょう。

カテゴリ	内容	
条件面	<input type="checkbox"/>	給与・福利厚生
	<input type="checkbox"/>	残業時間
働き方	<input type="checkbox"/>	年間の休日数
	<input type="checkbox"/>	オンコール体制・回数
職場環境	<input type="checkbox"/>	ステーションの雰囲気
	<input type="checkbox"/>	利用者さまの傾向
	<input type="checkbox"/>	訪問時の移動手段
	<input type="checkbox"/>	教育・研修体制



## 訪問看護ステーションによって働き方に違いがある

訪問看護ステーションの求人を探すうえで必ず確認すべき重要なポイントを何点か紹介します。

まず給与をしっかりと確認しましょう。給与に固定残業代が含まれている場合や、一定の訪問件数を達成することによるインセンティブ手当を高く設定して想定月収を提示している求人もあります。実際の給与が想定と大きく異ならないように、給与の内訳を確認しておきましょう。

働き方の観点では、オンコール体制は重要なポイントです。当番の頻度、どれくらい電話がかかるかを調べることで、無理なく働けるかイメージが付きやすいでしょう。

利用者さまの傾向も働き方に影響します。例えば、ターミナルの利用者さまが多いと緊急出動が発生する傾向があります。また精神科やリハビリが中心の利用者さまが多いと、1件当たりの訪問時間が短い分、訪問件数が増え、移動が比較的多くなるケースがあります。

そして、ステーションの雰囲気は重視すべきポイントです。転職サイトやステーションのホームページを見るだけでなく、実際に見学に行って雰囲気が自身と合うかを肌で感じるのが有効です。

\ 訪問看護師 /

## 見学で確認すべきポイント

- 職場の雰囲気
- 1日の訪問件数
- 利用者さまの傾向
- 移動手段
- スキル
- 訪問看護の記録方法
- 教育体制
- オンコール体制



## 訪問看護ステーションの雰囲気を肌で感じてみよう

全ての訪問看護ステーションで見学を受け入れているわけではありませんが、最近は見学を受け入れるステーションが増えています。見学することで実際に働くイメージが湧き、入職後のギャップが小さくなることで、長く働ける職場に出会えるでしょう。そのため、転職を決める前に見学をすることがおすすめです。

見学ではスタッフの同士のコミュニケーションを観察したり、管理者から経営方針を聞くなどして職場のカラーを確認してみましょう。

また、見学者がスタッフに付き添って利用者さまを訪問する「同行見学」ができるステーションもあります。訪問時の移動手段、利用者さまの傾向、必要なスキルなどを具体的に確認できます。

見学では質問するチャンスがあります。例えば、教育体制やオンコール体制など、より詳細に聞くことができます。あらかじめ疑問点をまとめておき、積極的に質問してみてください。



訪問看護に  
特化した豊富な  
求人情報



無料相談、キャリア  
カウンセリングが可能



訪問看護  
ステーションへの  
事前見学が可能※



※一部の施設では実施していない場合があります

## ナスキャリア（NsSpace Career）で、あなたに合った訪問看護ステーションが見つかります

訪問看護師として活躍したいと考えている方には、訪問看護特化の求人サイト「ナスキャリア（NsSpace Career）」がおすすめです。訪問看護業界ならではの求人・事業所の特徴がわかる情報を豊富に掲載しており、訪問看護業界ならではの条件で事業所を検索することが可能です。例えば、残業時間の目安、土日祝日の勤務の有無、オンコール体制などの詳細な情報も掲載しています。

また、訪問看護業界の未経験者や訪問看護ステーションの選択に悩んでいる方向けに、訪問看護に特化したキャリアアドバイザーによる転職無料相談や人材紹介サービスも行っており、訪問看護への転職を一人ひとりの希望に沿って進めるための様々な情報・サポートを提供しております。

さらに、職場の雰囲気を理解したうえで安心して転職いただくために、気になる訪問看護ステーションへの見学申込も可能です。

「ナスキャリア（NsSpace Career）」であなたにぴったりの訪問看護ステーションを見つけて、訪問看護に踏み出してみましょう。  
まずはお気軽にご相談ください！

訪問看護専門の総合転職支援サイト



訪問看護業界への転職はお任せください

<https://ns-pace-career.com/>

お問い合わせ